

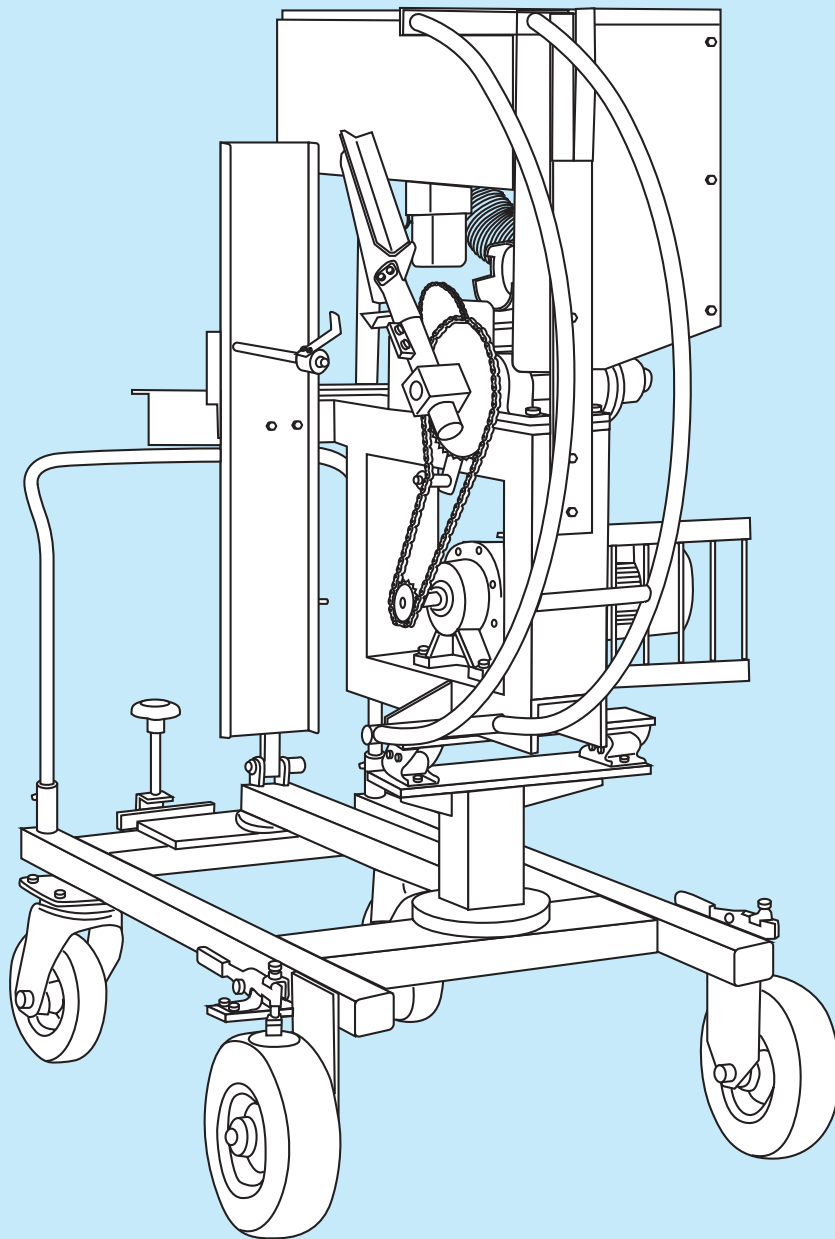
# ARM TYPE PITCHING MACHINE

# アームマシーンBAJタイプ

取扱説明書 ■ご使用前に必ずお読みください。

型式

BAJ



このたびは、弊社のピッチングマシーンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

# 安全上のご注意 ⚠️ 必ず守ってください

※本書はマシン使用者が、いつでも読めるところに必ず保管してください。









※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。






※このマシンは野球の練習以外には使用しないでください。

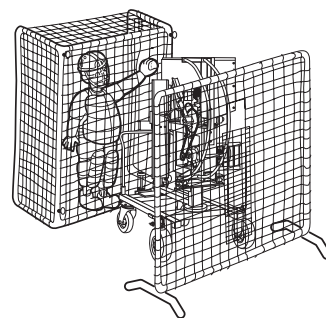
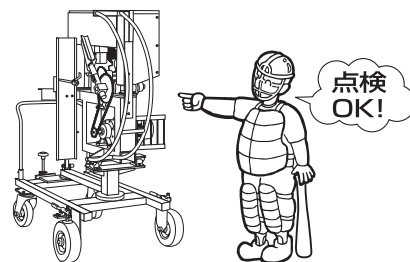
※絵表示と意味は次のようになっています。

※図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。

-  **危険** 取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示しています。
-  **警告** 取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
-  **注意** 取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容を示しています。
-  禁止の行為であることを告げるものです。
-  感電の恐れがあることを告げるものです。
-  行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。
-  守っていただくべき義務行為を示しています。
-  発火の可能性のあることを告げるものです。

## ⚠️ 危険

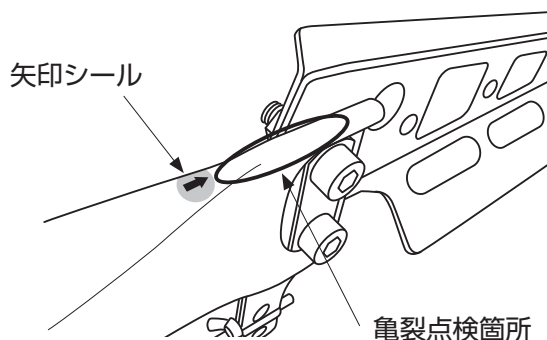
-  マシンの取扱いは、マシンの危険性をこの説明書でよく理解された方が行ってください。
-  事故を防ぐ為にマシン使用前にはマシン本体（リード線・ハンド・ウデ・スプリングなど）に異常がないか点検してください。特にハンド・ウデに亀裂等がある場合は、飛んでいく恐れがあり大変危険です。必ず交換してください。
-  マシンを使用する時は、マシン前ネット・マシン打球者用保護ネット（オペレーター用ネット）を設置し、マシンを操作する人は安全の為に必ずヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を着用してください。
-  複数の打席で、同時にバッティング練習するときには、他打席の打球にも十分注意してください。
-  破れたネットは打球が突き抜けてきて危険ですから、使用前に必ず確認してください。



# 使用時の注意

## ⚠ 危険

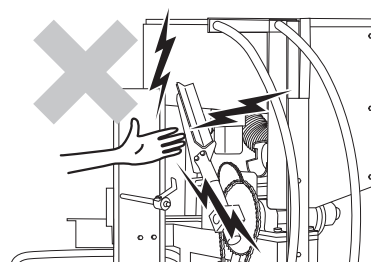
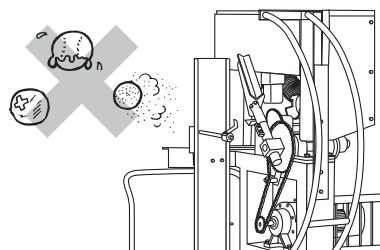
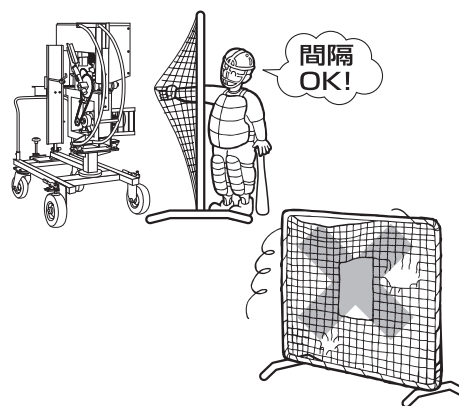
- ⊘ マシンが2～3回空打ちをしても、マシンを停止させるまで、絶対にマシンの前に出ないでください。ボールバケット内にボールが残っている場合があります。
- ⊘ マシン使用中にマシンの振動が大きくなったり、異音が出た場合は、直ちに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜き、マシンの使用を中止してください。
- ⊘ マシンは屋内で湿気やほこりの少ない場所に保管し、石灰と同じ場所には保管しないでください。石灰は空気中の水分を集めますので、湿気により商品の損傷を招く恐れがあります。
- ⊘ 球速やコントロールの調整時は大変危険ですからキャッチャー、バッターは定位置に付かないでください。
- ⚠ マシン運転中は、危険ですから絶対にマシンの前を横切らないようにしてください。
- ⚠ ボール集球時には、マシンの電源スイッチはOFFにしてください。
- ⚠ ボール投入時には、必ず声を出してバッターに合図をしてください。
- ⊘ 回転している部分には、絶対に触れないでください。
- ⚠ 雨の日は、絶対にマシンやコードリールを使用しないでください。また、マシンやコードリールは水などで濡らさないように注意してください。濡れた手で電源プラグに触ると感電の危険性があります。
- ⊘ マシンに表示されているボール以外は使用しないでください。ボールのスピードが変わり、コントロールが定まらなかつたりして大変危険です。
- ⊘ マシンの移動は、移動用取手を持って移動してください。部品が変形し、コントロールが悪くなったり、破損・故障の原因にもなります。
- ⊘ ボールバケットを持ってマシンを移動させないでください。ボールバケットが変形また破損・故障の原因にもなります。
- ⚠ 安全にご使用頂くために、使用前点検をお願い致します。仕様変更により強度アップしていますが、使用し続けることにより亀裂が発生します。亀裂が発生した状態で使用し続けると、ウデ・ハンドが破損し、飛んでいく恐れがあり大変危険です。事故を未然に防ぐ為、マシンの使用前には必ず2箇所（上下）に示す矢印付近に亀裂が発生していない事を確認したのち、使用してください。亀裂が発生していた場合は、〔ウデ・ハンドの交換〕作業を参考に新しいウデに取替えてください。



# 安全上のご注意 ⚠️ 必ず守ってください

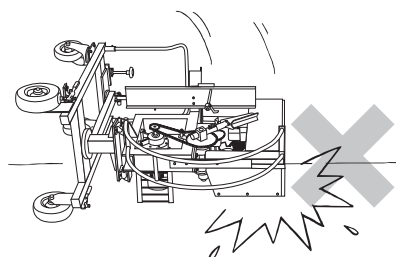
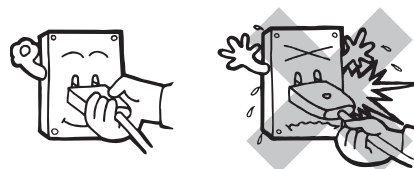
## ⚠️ 警告

- ❗ マシンの前には、マシン前ネットをネット部のたるみを考慮して、マシンのハンド部に接触しない間隔（ハンド部が最も前に出た状態）をあけて設置し動かないように固定してください。回転している部分に巻き込む恐れがあり大変危険です。特に古くなりたるんだネットやロープが切れてぶらさがっているネットは、修復して使用してください。
- ⚡ アースを接続しないと感電する恐れがありますので、アースは必ず接続して使用してください。
- ❗ マシン使用中は、マシンの周辺及び使用範囲（ボールが届くと思われる範囲）には、関係者以外近づけないようにしてください。
- ⊘ 革や糸が切れているボール、変形しているボールなど、傷みのひどいボールは使用しないでください。ボールがスリップして予想外の方向に飛ぶ恐れがあり大変危険です。
- ⊘ マシン使用中に、スピード調整や上下調整をしないでください。必ず電源スイッチを OFF にしてから調整してください。
- ⊘ マシンは絶対に分解しないでください。
- ⊘ 弊社指定部品以外の部品は使用しないでください。



## ⚠️ 注意

- 🔌 電源プラグは、必ず根元を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になり、大変危険です。
- ❗ マシンの移動は電源スイッチを OFF にしマシンが完全に停止したのを確認してから、転倒させたり、ぶつけないように注意して移動用取っ手を持って移動させてください。  
※グラウンドはぬかるんだりして転倒につながる可能性が多々ありますので注意してください。

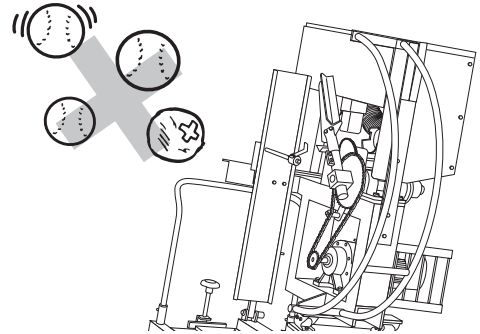


# 使用時の注意



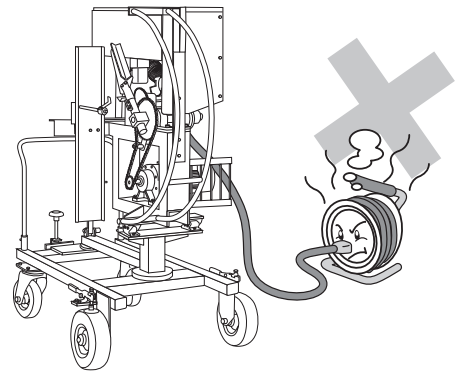
## 注意

⊘ 濡れたボールは使用しないでください。スリップしてコントロールが悪くなります。



⊘ マシンの仕様に応じたボール以外は使用しないでください。

❗ 硬さの一定しないボール・大きさの異なるボール・傷みのひどいボール、また、これらを混ぜて使用すると、コントロールが悪くなります。



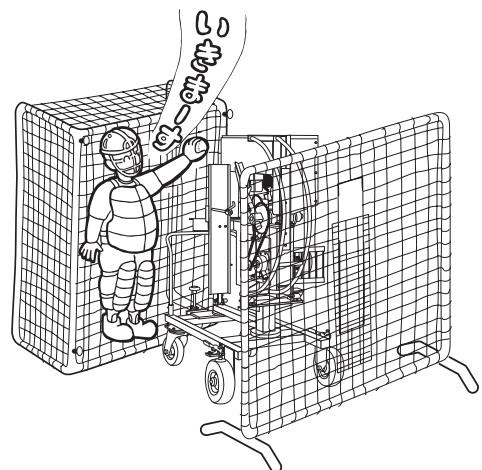
❗ コードリールのコードは全部引き出して使用してください。  
巻いたまま使用すると、コードが発熱し、被覆が溶けてショートすることがあり大変危険です。(燃えることもあります。)



❗ ボール投球時は、必ず周囲の安全を確認してください。

コンセント仕様：2P・15A・125V  
電線仕様：VCT2.0mm<sup>2</sup>×2

❗ スピード調整直後はコントロールが悪くなる恐れがありますので十分に試投してください。



- ・下記の文面は出荷時マシンに添付しています。
- ・初期のマシントラブルを防ぐ目的で重要な部分をまとめております。

# ご使用の前に！

★取扱い説明書は読みましたか

★商品の確認は行いましたか

★電圧の確認は行いましたか

## 初めて使用する時は次の事項に特に注意してください

- ◆キャッチャーやバッテリーは付けないでコントロールの調整をしてください。
- ◆コードリールは巻いたまま使用しないでください。(必ず全て引き出してください)
- ◆同じコンセント又は同じコードリールで別のマシンを使用しないでください。

## モーターの焼損防止に！次の事項を確認してください

- ◆このマシン（AC100V用）の使用可能電圧は95～110Vです。  
マシン使用前には、テスターを使用し、電源電圧を必ず確認してください。  
電圧を計測する際は、マシンに使用する電源または同一電流が流れるコンセント（例：同一コードリールのコンセント）をテスターで計測してください。  
200Vでは使用しないでください。モーターが焼損します。
- ◆マシン使用中の最大負荷時（スプリングが最も伸びた状態）に電圧が90Vを下回ると、電圧不足によりモーターの回転が停止、あるいはモーターがスプリングの張力に負け、逆回転する可能性があります。  
電源がOFFの状態で使用可能電圧であっても、使用環境（コードリール配線の距離が長い、配線が細い、同一電源で複数台のマシンを運転する等）によってマシンの最大負荷時に電圧が90Vを下回る可能性があります。
- ◆マシン使用中の最大負荷時の電圧を計測する際は、マシンに使用する電源または同一電流が流れるコンセント（例：同一コードリールのコンセント）をテスターで計測してください。90Vを下回る場合は、取扱い説明書の「マシン使用前に確認していただきたいこと」を参照し、適切な処置をしてください。
- ◆マシンを使用中にモーターの回転が停止あるいは逆回転した場合は、すぐに電源をOFFにしてスプリングを緩め、使用を中止してください。
- ◆電源がONの状態でも、モーターの回転が停止したままで放置すると、モーターが焼損します。
- ◆電源がONの状態でも、モーターが逆回転すると、ハンド等の部品が破損する原因となり、怪我にいたる恐れがあります。

# マシーンの特長

- ボールが常に打者から見え、タイミングがとりやすくなりました。
- 大型空気入りタイヤの採用でマシーンの移動が楽になりました。
- 投球後の振動を抑える静音設計により、マシンは安定し正確なコントロール性能を実現。
- 連続 120 球のボール供給を可能にした、新構造ボールバケットで球づまりのしにくい設計です。

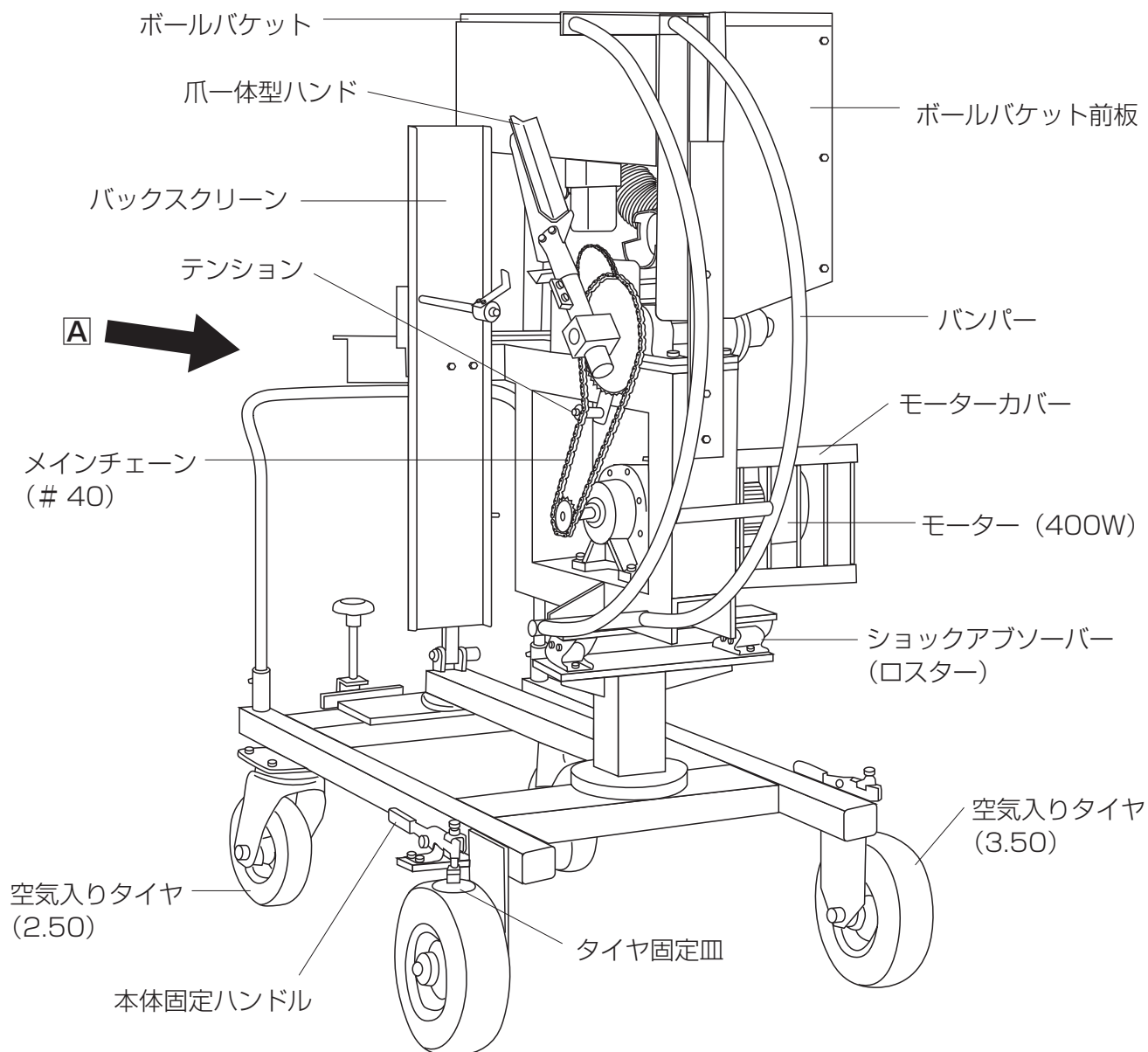
# マシンが到着したら

- 到着したマシンが、注文された商品であることを確認してください。  
(品番・使用電圧・使用球など)
- 到着したマシンが、運送途中、その他のトラブルなどで損傷、破損している箇所がないか慎重に点検・確認してください。万一、損傷・破損が認められた場合は、運送会社もしくは、購入先の販売店まで至急ご連絡ください。この場合は、マシンを絶対に使用しないでください。事故や破損部の拡大の原因になります。また、運送保険の適用を受けることができなくなります。
- マシンの到着より点検、確認、連絡まで 5 日以上経過していますと、運送途中のトラブルが原因の修理に対して運送保険の適用が受けられなくなり、有料になる場合がありますので予めご了承ください。

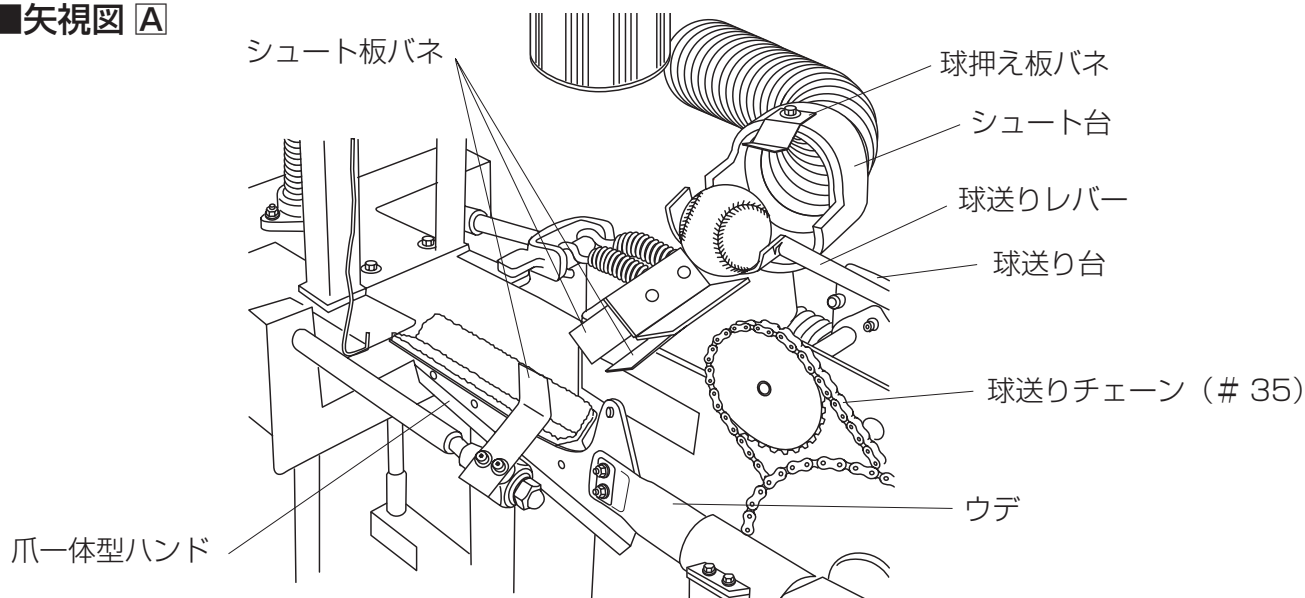
# もくじ

安全上のご注意	1
ご使用の前に	5
マシンの特長	6
マシンが到着したら	6
もくじ	6
各部の名称	7
マシン使用前に確認して いただきたいこと	9
マシンの始動及び 使用中・そして終了時	10
使用ボールと各部のチェック	11
各部のメンテナンス (スプリングの交換)	12
(給油について)	12
(ボールバケットの取り外し方)	13
(ウデ・ハンドの交換)	13
(ハンドの調整)	14
(ボールホルダー部の調整)	14
(メインチェーン・ボール送り チェーンが切れた場合)	15
(ボール送り部の調整)	16
(空気入りタイヤ)	16
(ブレーキの調整)	17
トラブルシューティングガイド	18
警告シールについて (一覧)	19
仕様	20
消耗部品について	20
アフターサービスについて	21

# 各部の名称

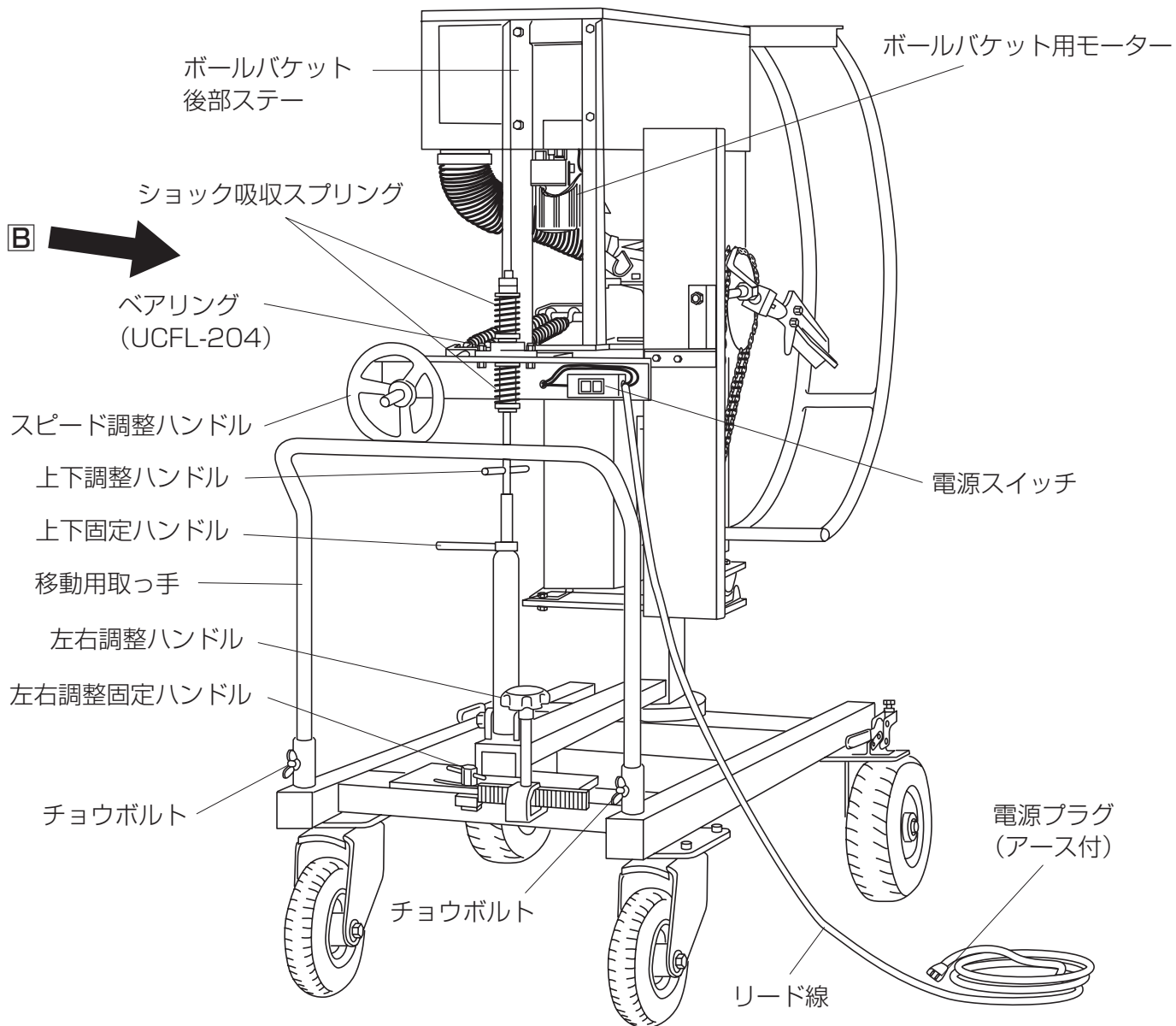


## ■矢視図 A

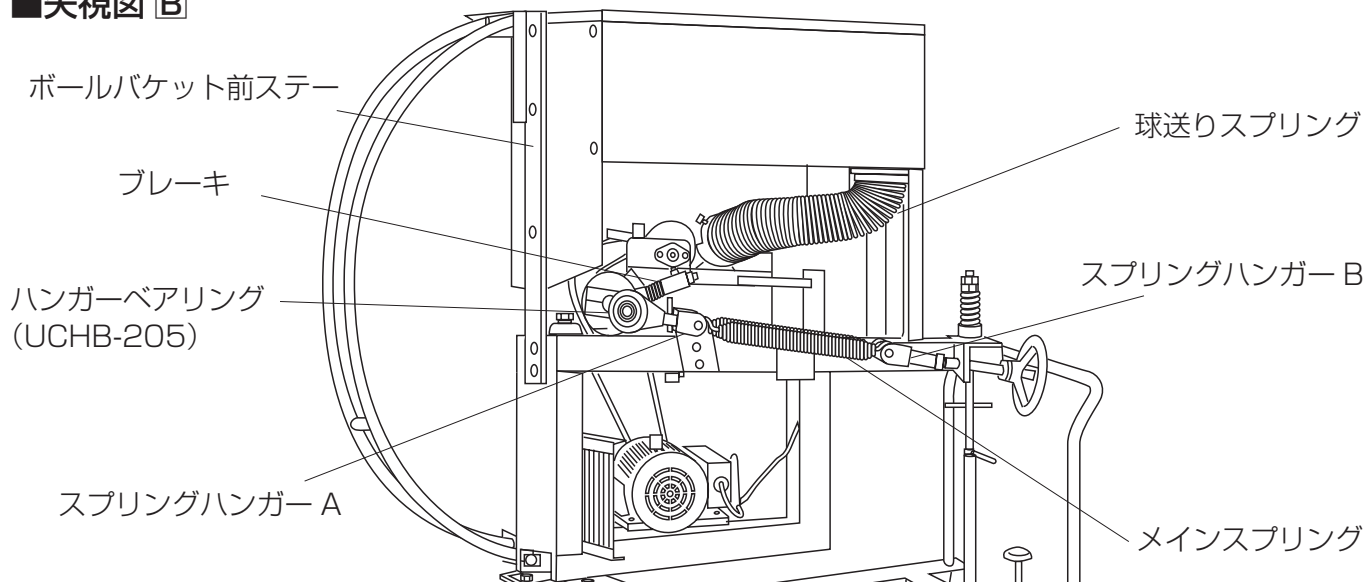




# 各部の名称



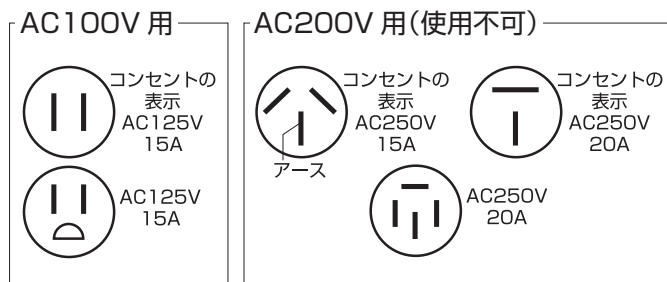
## ■矢視図 B



# マシーン使用前に確認していただきたいこと

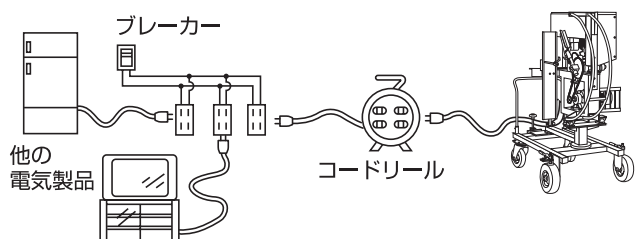
- ① マシーンに使用するコンセントの形状・電圧を確認してください。
- ② 他のコンセントを使用する場合も同様に確認してください。
- ③ この商品は **AC100V 専用** です。モーターが破損しますので **AC200V では絶対に使用しないでください**。
- ④ マシーンに使用するコンセントは、**単独回路 (20A)** で使用してください。下図に示すような状態で使用した場合は、ブレーカーが落ちることがあります。
- ⑤ マシーンに使用するコンセントのブレーカーは **20A (アンペア) 以上** を使用してください。

## 【代表例】



コンセントの表示又は型式により電圧を自己判断するのは危険です。必ずしもコンセントの形状に合った電圧がきているとは限りません。テスターにより、電圧を実測してください。

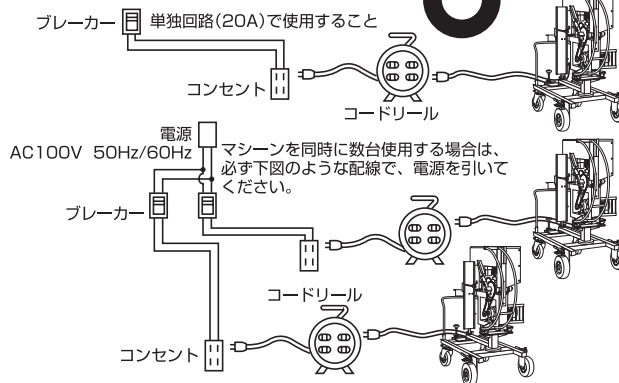
## ● 誤った使用例



- ① マシーン使用前には、必ず、リード線に傷などが入っていないことを確認してください。万一、被覆に傷があり、銅線が見えている場合は、使用しないでください。
- ② コードリールを使用する際、コードは必ず全部引き出されているか確認してください。
- ③ 発電機を使用する場合は、**2.3kw 以上** の商品を使用してください。

注) 20A (アンペア) 以下のブレーカーを使用すると、マシンの電源スイッチを入れ、速度を上げる途中でブレーカーが落ちる場合があります。(容量不足)

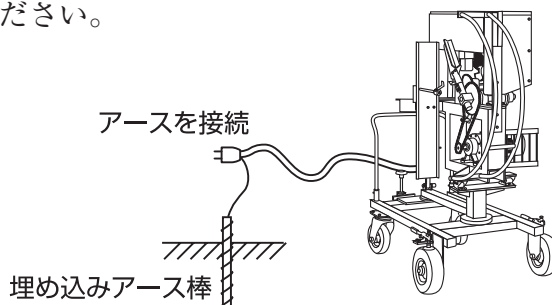
## ● 正しい使用例



注) コードリールの、全巻時の最大定格電流は **7A** です。全て引き出したときに、定格電流は **15A** になります。(100V・50m・15A 用)

コードリールは全巻時 **7A** を超過した場合コードが発熱し、被覆が溶けてショートして燃えることがあります、大変危険です。

- コードリールはプラグ 1つで **15A 以下** か、または 4つのプラグ合計が **15A 以下** で使用してください。

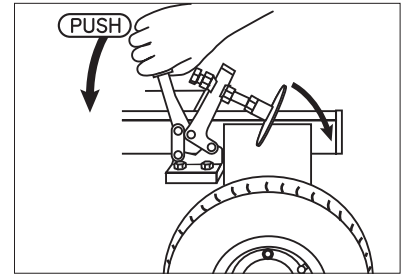


# マシンの始動及び使用中・そして終了時

## マシンの操作方法

- ①コードリールを全て引き出してください。
- ②マシンを投球位置にセットします。  
マシンをホームベースに向け本体固定ハンドルで固定します。

【図-1】



【図-1】

- ③ボールバケットにボールを入れます。
- ④アースを接続して電源スイッチが OFF になっている事を確認の上、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ⑤キャッチャー、バッターを付けず、また周囲の安全を確認した上で電源スイッチを ON にし、数球投球して上下、左右、スピードを合わせます。
- ⑥調整が終了しましたら、電源スイッチを OFF にしマシン前ネットをセットしてご使用してください。

### ⚠️<重要>

- ⊘ マシン作動中は、絶対にマシンの前に出ないでください。
- ⊘ マシンが数回空打ちをしても、ボールバケット内にボールが残っている事があり、球切れと思える場合でもマシンの作動中はボールの投球線上には絶対に出ないでください。ボール補給時は必ずマシンを止めてから行ってください。

## マシンの使用が終わったら

- ①電源スイッチを OFF にしてください。
- ②スピード調整ハンドルをゆるめてください。

⚠️ ハイスピードの状態では停止させていると、始動時にモーターに大きな負担がかかり、始動しない、又は逆回転したりする場合があります。又、スプリングの耐久性が落ちる原因となります。(スプリングがのびてしまいます。)

### 使用時

コードリールは  
全てひきだす

アースは  
必ず取る

リード線

約 10cm

### 移動時

リード線を移動用  
取手に巻いて移動  
してください

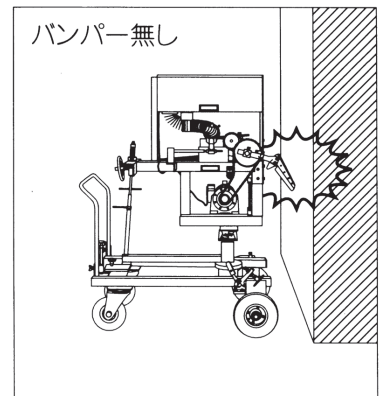
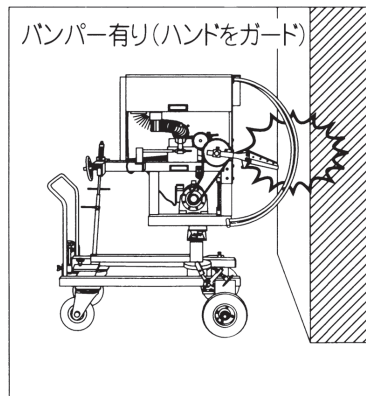
⚠️ バンパーを持って移動しないでください。  
(バンパーが曲がるとハンドと接触したり、  
ボールがバンパーに当たる恐れがあります。)

# 使用ボールと各部のチェック

## 新 構 造

……バンパー

- 移動時にハンドの接触・破損という問題を解消しました。これによりハンドの耐久性が一段とアップしました。



## よりよいコントロールを得るためと故障防止のために

- 下記のようなボールは使用しないでください。

ウレタンボール、レインボール、革ボール等、種類の違うボールをまぜて使用しないでください。硬式球にて、革の浮いたボール、糸の切れているボール、水を含んだ重いボールは使用しないでください。

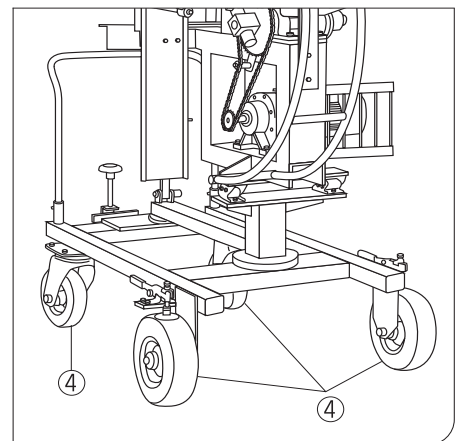
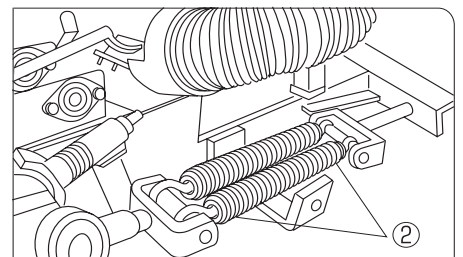
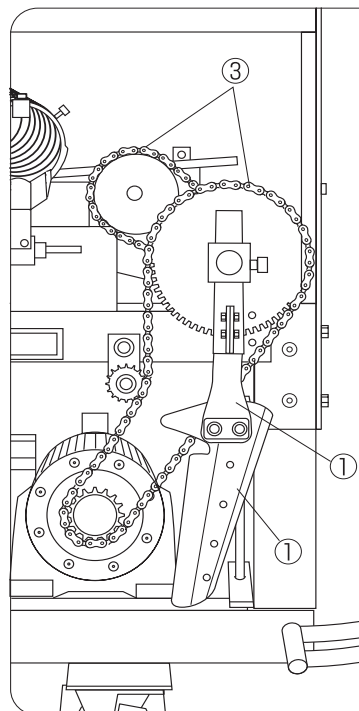
- ボールバケット内での球づまりはマシンの故障原因となります。又、コントロールも乱れ事故につながる危険性もあります。

※特に皮の浮いたボール、糸の切れているボールはボールバケット内にて球づまりや、ボール出口とボール送りレバーとの間にはさまれる可能性が高いです。万一はさまった場合バケット用モーターがロックされる為、モーターの焼損につながります。(保証外)

## マシンのチェックポイント

- 安全にご使用していただくため、必ず次のことを使用前に確認してください。

- ①ウデ、爪一体型ハンド部に亀裂等がないか
- ②スプリングが正しくかかっているか
- ③チェーンが切れていないか、油切れをしていないか
- ④タイヤの空気は正しく入っているか



# 各部のメンテナンス

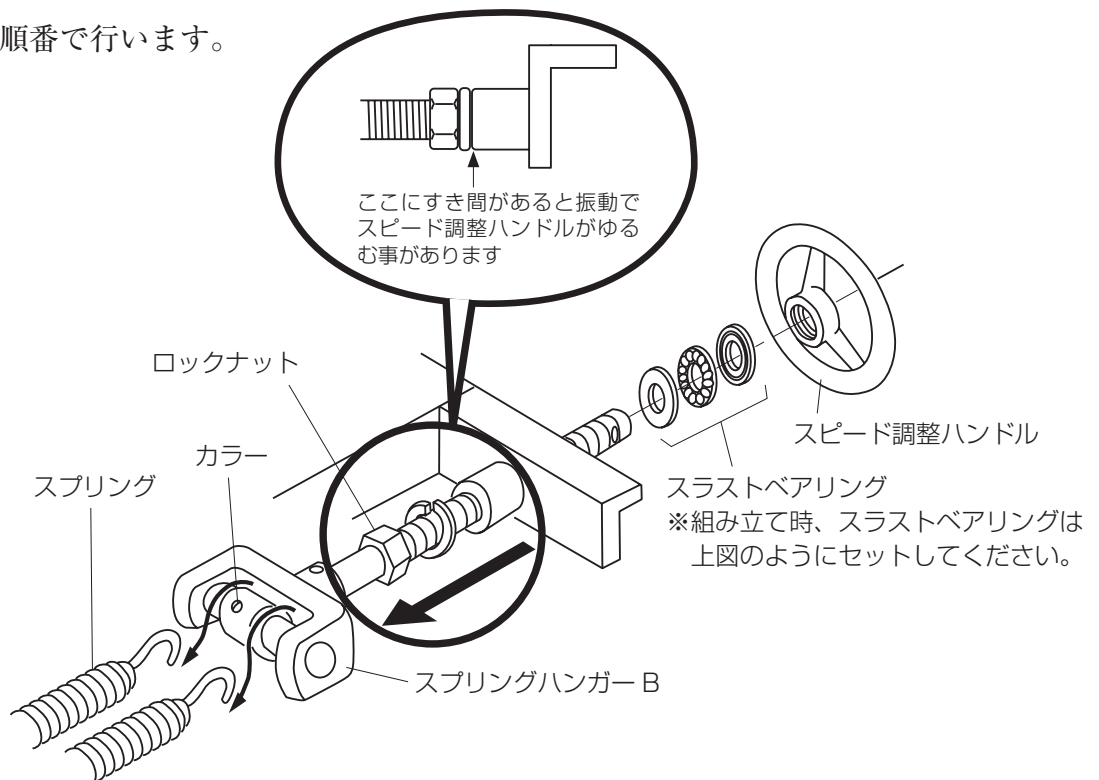
⑨ このマシンの各部の調整・部品の交換に際しては、必ずマシンの電源スイッチを切り、部所によってはスプリングをはずした状態で行ってください。

## スプリングの交換

⑩ スプリングは消耗品です。もし切れた場合は2本同時に交換をしてください。  
(1本のみ切れた場合も、残りの1本も寿命が近づいていると考えられます。)

スピード調整ハンドルを左に回し抜き取りスプリングハンガーを→印側に抜き取りスプリングを付け替えます。

組み立ては逆の順番で行います。



⑪ ひっぱった状態で保管しないでください。(スプリングがのびてしまい速度が出なくなることがあります。)

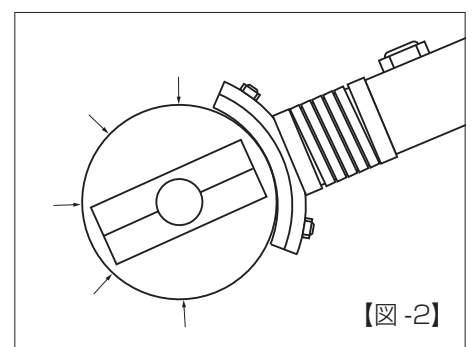
⑫ スプリングがさびないように油を差してください。(スプリングがさびると、折れやすくなります。)

⑬ スプリングは専用品以外使用しないでください。(故障の原因につながります。)

## 給油について

マシンをよりよい状態に保つために防錆スプレーまたは、潤滑油スプレーにて、下記の部分に給油をしてください。

- チェーン
- メインスプリング
- 上下調整ハンドル
- スピード調整ハンドル
- 左右調整ハンドル (P7、8 各部の名称参照)
- カム 【図-2】



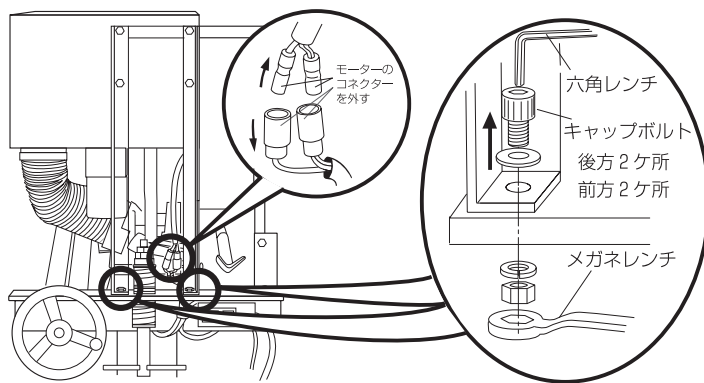
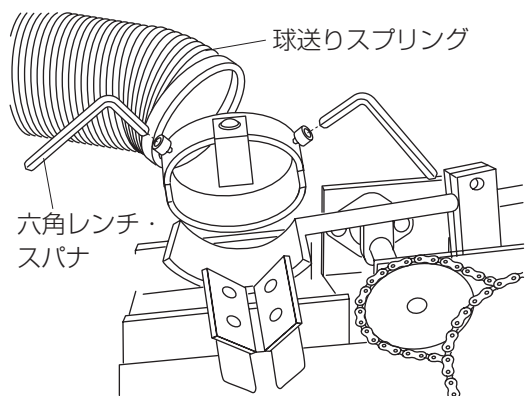
【図-2】

# 各部のメンテナンス

## ボールバケットの取り外し方

(注) 必ず二人以上で作業をしてください。

- ①バンパーを取り外します。
- ②球送りスプリングを図の所で外します。
- ③ボールバケットの右後部の所でボールバケット用モーターのコネクターを外します。
- ④ボールバケットの支柱3本の下のカップボルト（4本）とナットを付属の六角レンチとメガネレンチで取り外します。（※必ずナットを先に外してください。）  
これで本体とボールバケットは分離できます。



## ウデ・ハンドの交換

- ウデ・ハンドは消耗品です。亀裂などの症状が始めると寿命ですので交換をしてください。

### ウデの抜き取り

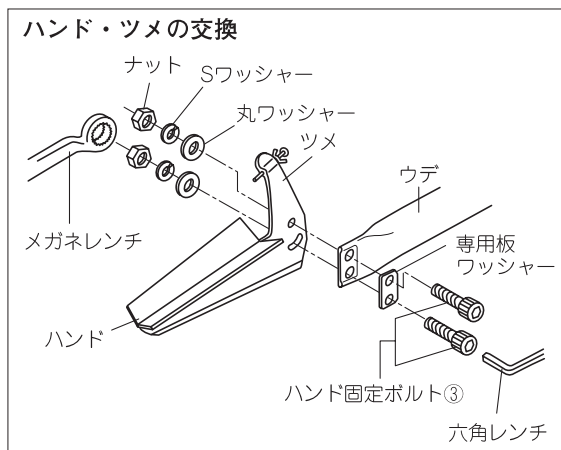
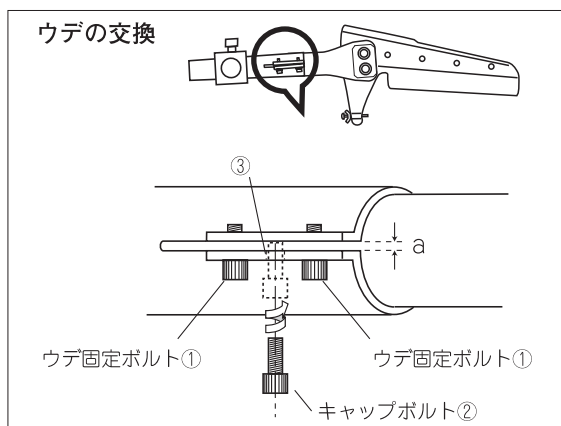
- ①ウデのウデ固定ボルト①を付属の六角レンチで緩めます。
- ②付属のカップボルト②を③の穴に締め込む事により a のすき間が開いてウデを抜くことができます。

### ハンドの交換

- ①ハンド固定ボルト③を六角レンチとメガネレンチで外して、新しいハンドを取り付けます。
- ②ハンドを取り付けたウデをマシン本体の奥まで差し込み（確実に奥まで差し込んでください。）カップボルト②を抜き取ってからウデ固定ボルト①を締めてください。

※片方のボルトだけを締めつけず必ず両方のボルトを均等に締めてください。

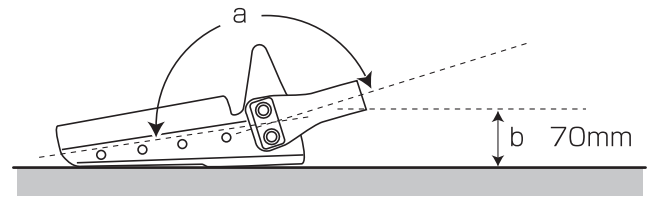
※抜き取ったカップボルト②はなくさないように保管しておいてください。



ハンド固定ボルトは、付属の六角レンチと、メガネレンチにてしっかりと固定します。

## ハンドの調整

●ハンドの角度  $a$  が小さいとボールは低めになります。少しの角度ズレでも大きくコントロールが変わりますので、水平な台にハンドを置き右図を参考に角度の調整をしてください。

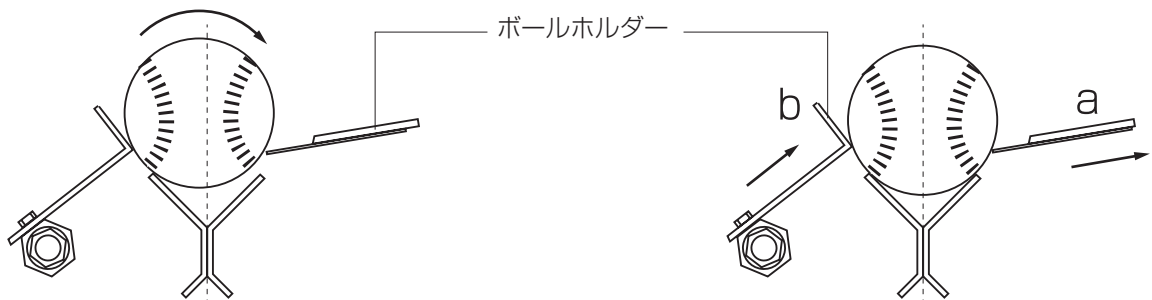


(出荷時寸法  $b$  は 70mm でストライクになるように調整されています。)

⑨締め具合がゆるいとハンドとウデの角度が変りだんだんと高めに投球されるようになります。

## ボールホルダー部の調整

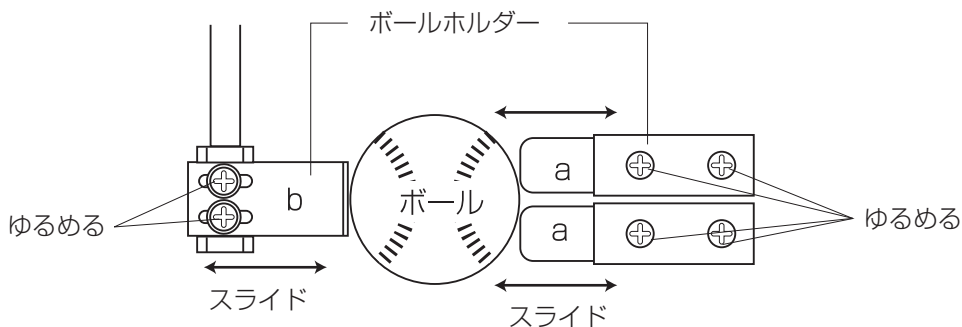
●コントロールが悪い場合にボールホルダーの位置が適切でない事があります。投球時にマシンのサイドおよび後方より見て、ハンドがボールを拾い投球する時にボールがハンドの上で静止していないとコントロールが悪くなります。



ハンドが下方よりボールを受ける場合、ボールが左右によろける。

ボールホルダーをスライドさせハンドのセンターにボールのセンターがくるように  $a$ 、 $b$  のホルダーをスライドさせ調整します。

上図はボールが右によろけます



# 各部のメンテナンス

△安全のために、必ず、スプリングをはずしてから作業を行ってください

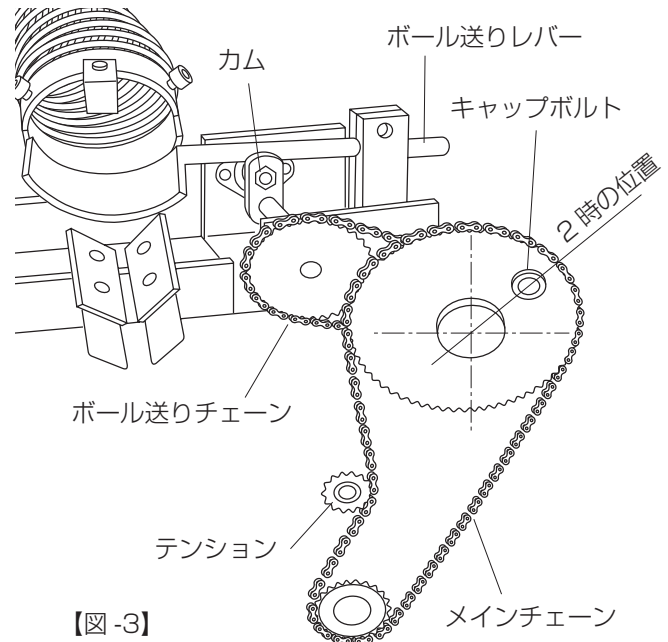
## メインチェーン・ボール送りチェーンが切れた場合

●メインチェーン・ボール送りチェーンが切れたら、そのチェーンは全て取り替えとなります。メインチェーンとボール送りチェーンは互いにタイミングがありますので下図の位置にジョイントしてください。

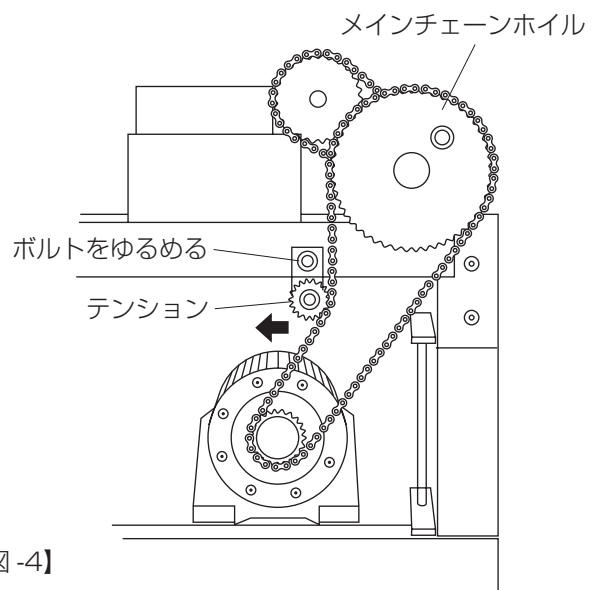
- ①ボール送りレバーが一番上昇している状態（カムが真上にきます）の時にメインチェーンホイールのキャップボルトが【図-3】の所に来るようにチェーンをつなぎます。
- ②この時テンションはゆるめて矢印方向にスライドさせておいてください。【図-4】
- ③チェーンホイール上にてジョイントしチェーンがピンと張る所までテンションで押えテンションのナットをしっかりと締め付けます。

※メインチェーン及びボール送りチェーンには、錆ないように防錆、潤滑のスプレーをかけてください。

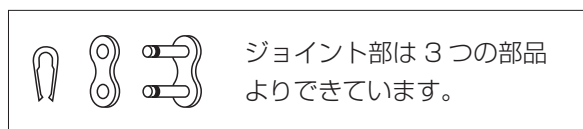
- チェーンについて
- チェーンをはずす場合は、チェーンのジョイント部でおこなってください。ジョイントはマイナスドライバーで【図-5】のように力を加えることにより取れます。チェーンをつなぐ場合は、チェーンの両端をチェーンホイール上でつなぐとつなぎやすくなります。ジョイントにマイナスドライバーをあて力を加えてはめ込んでください。【図-6】



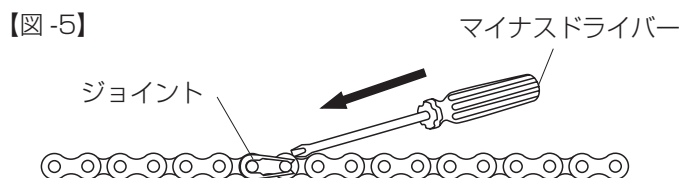
【図-3】



【図-4】

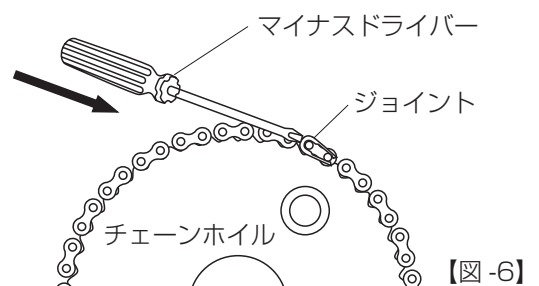


ジョイントをはずす時



【図-5】

ジョイントをはめ込む時



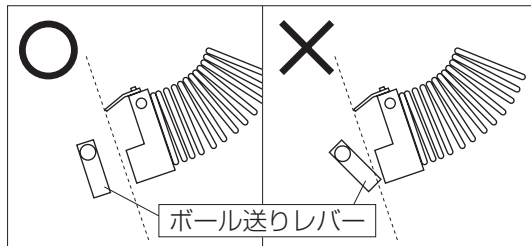
【図-6】



## ボール送り部の調整

### ● ボール送りレバーの調整

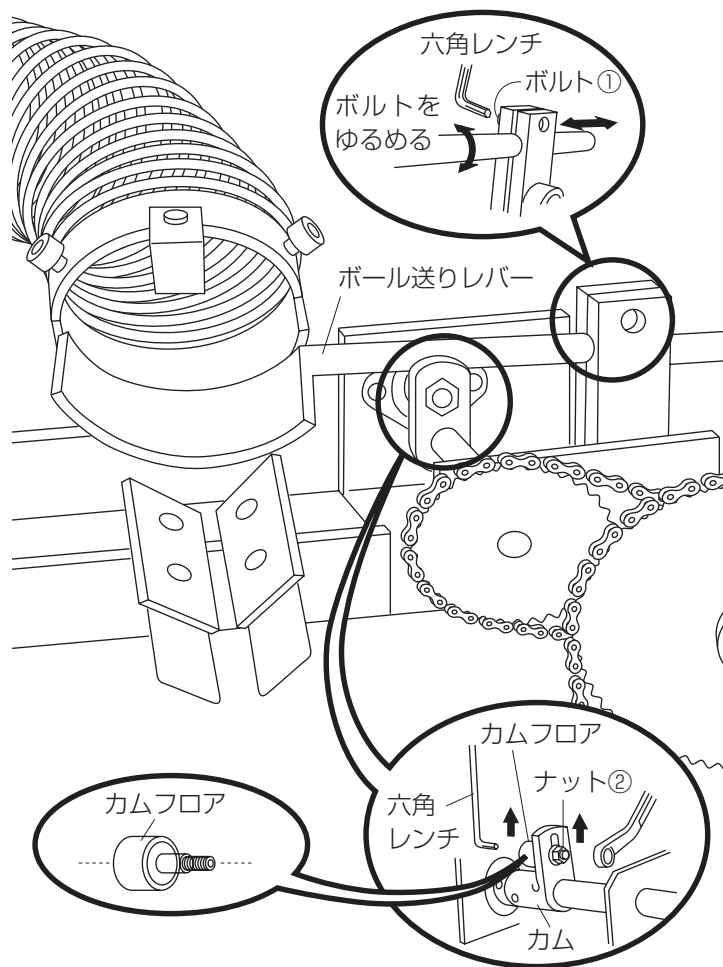
右図のボルト①をゆるめると、ボール送りレバーが動きます。長さ・角度を調整してボールをスムーズに送るようにしてください。



### ● ボール送りレバーの高さ調整

右図のナット②をゆるめるとカムフロアが上下に動きます。ボールが落ちてこなくなったときカムフロアを上にするように調整してください。

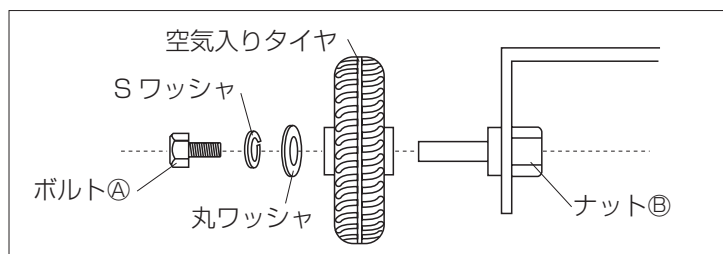
※カムフロアを上にあげすぎますと、ボール送りスプリングの出口にボール送りレバーが当たることがありますので注意してください。(ボールがボール送りレバーの下に入りこむ恐れがあります。)



## 空気入りタイヤ

● ボルト④を抜いてタイヤを抜いてください。

から回りするときはナット⑤を押さえながらボルト④を抜いてください。



空気入りタイヤの空気はチェックしてください。タイヤに空気が入っていないと振動が大きくなり、コントロールが悪くなったりマシンの耐久性が低下します。空気は市販の空気入れで入れることができます。

## ブレーキの調整方法

①ブレーキの制動があまくなってきますと、マシン投球時の振動が大きくなりコントロールが悪くなってきます。

この様な時は、ブレーキの調整、またはブレーキシューの交換が必要です。

### ②ブレーキの調整

①ブレーキがきいている状態にて a の箇所に 1.0mm 程度のすき間があるのが正常です。

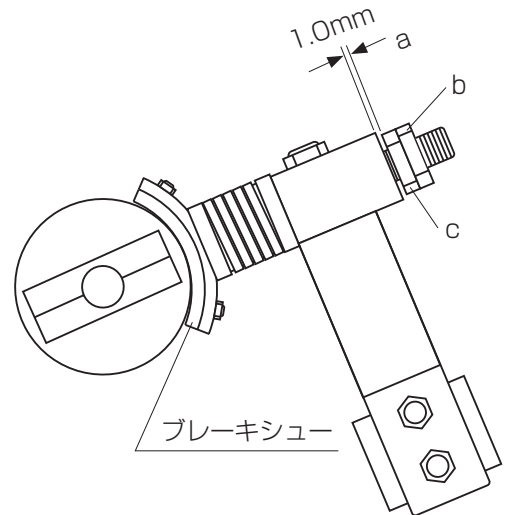
ブレーキのききが悪い場合はこのすき間が無くなっています。【図-7】

② b・c のナットを左に回転させ a の箇所にすき間をつくってください。

③ 1.0mm 程度のすき間が出来れば c のナットにスパナをかけ固定し b のナットを右に締め付けロックします。

④ ブレーキがききすぎている時は、a のすき間を 1.0mm 程度に調整してください。

(ハガキ 1 枚が 0.25mm ですから 4 つ折り) にして入る程度のすき間が適切です。

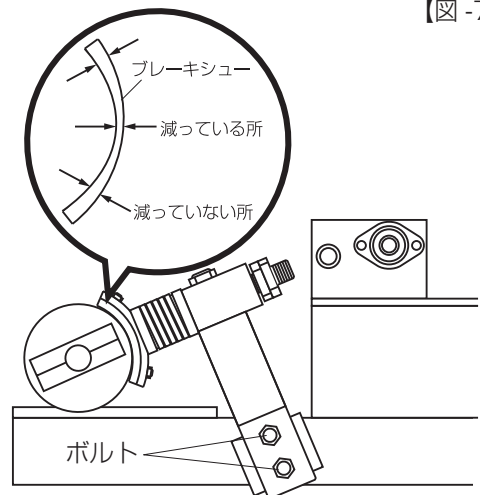


【図-7】

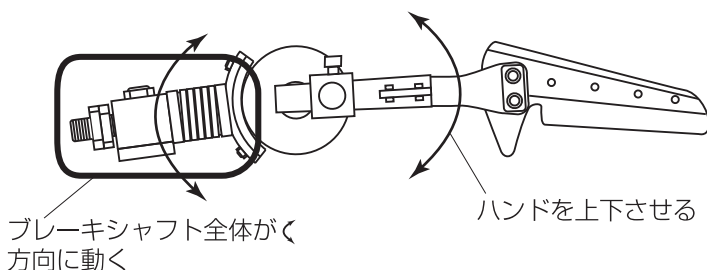
### ⑤ブレーキシューの交換

ブレーキシューが減っていない所と比較して 3 分の 1 までうすくなりましたら取り替えの時期です。販売店にご依頼ください。

**注意** 下図のようにハンドを手で上下に動かし、ブレーキシャフト全体が上下に大きく動く場合は、ブレーキ部全体の取り替えが必要です。販売店にご依頼ください。



ボルトを 2ヶ所取りはずしブレーキユニットを取りはずし販売店に持ち込んでください。



# トラブルシューティングガイド

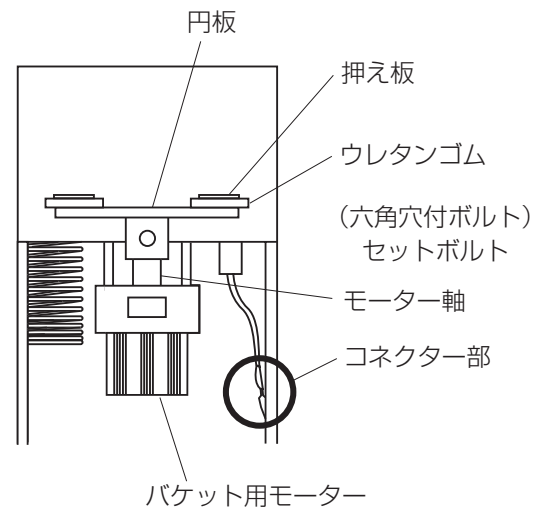
## 故障と思う前に確認していただきたいこと

### ①電源スイッチを入れても作動しない

- コードリールに電気はきてますか。 ⇨ 他の電気製品又はテスターでチェック。
- 電源スイッチ内部が破損していないか。 ⇨ お買い上げの販売店にご相談ください。
- リード線の内部、及び途中で断線していないか。 ⇨ お買い上げの販売店にご相談ください。
- スプリングを引っ張った状態で電源スイッチを ON にしていないか。 ⇨ 電源スイッチを OFF にし、スプリングをゆるめて再度電源スイッチを ON にして確認。
- バケット内のモーターは回転していますか。 ⇨ バケット内を確認する。  
回転している場合は、電源スイッチからメインモーターまでの配線をチェックしてください。

### ②ボールが落ちてこない

- ボールバケット内の円板に取り付けているウレタンが欠落していませんか。  
⇨ ボールバケット内を確認。  
欠落している場合はビス2本をはずしウレタンの向きを換えて取り付けてください。
- ボール内の円板が回転していますか。  
⇨ ボールバケット内にて円板部にボールがかみ込んでいないか、ボールを取り出し確認。  
⇨ ボールバケット内に異物が入っていないか確認。  
⇨ バケット用モーターのコネクターが抜けていないか確認。  
⇨ 円板下部のセットボルトがゆるんでから回っていないか（モーター軸のみ回転しているが円板は回転していない）六角L型ハンドルにて締め付けてください。  
⇨ コネクター部分をテスターでチェック。



①、②の処置をしても作動しない場合は、モーターの交換の必要がありますので販売店にご相談ください。

# 警告シールについて (一覧)

製造番号	No.
製造年月	20 年 月

**株式会社トーアスポーツマシーン**  
BASEBALL PITCHING MACHINE & SPORTS MACHINES  
 〒551-0031 大阪市大正区泉尾6丁目6番12号  
 製造元 電話 大阪 (06) 6552-8247 (代表)

### 注意事項

**漏電による感電を防ぐために...**

- 必ずアースを接続してください。
- マシーンを濡らさないよう願います。
- 雨が降り始めましたら、直ちに使用を中止してマシーンを濡らさないような処置をしてください。

**電気配線について...**

電気配線が長すぎる場合や、コードがドラムに巻かれた状態のままの使用は、電圧低下をまねき、ピッチングのスピードダウンの原因になります。このような場合は、電気工事店にご相談ください。電気配線はできるだけ短く、コードリールは伸ばして配線してください。(詳しくは電気工事店にご相談ください)

**注意**

使用前に必ず亀裂等がないか確認してください。「-」が示す箇所は特に注意してください。そのまま使用すると、ウチが破損して飛んでいく恐れがあり大変危険です。亀裂等の異常がある場合は交換をしてください。

**危険**

- マシーン調整及び試投時は、キャッチャー・バッターは付けないでください。
- マシーン作動中は絶対にマシンの前には出ないでください。
- マシーン作動中にボールの接触をしないでください。
- マシーンに閉塞されている部品等は取りはずして使用しないでください。
- 投球直前でマシーンを停止させないでください。
- 各種転部には、手や物などを近づけないでください。
- ▲ マシーン前ネットは必ず設置してください。
- ▲ マシンのオペレーターは、安全のため必ずヘルメット及び捕手用の防具を着用してください。

**注意**

- ▲ コードリールは全て引き出して使用してください。
- ▲ アースを必ず接続して使用してください。
- ☒ ハンド、アーム部、スプリング等に亀裂がないか、各ボルト類等にゆるみがないか、運転前点検を行ってください。
- ▲ マシーン使用中は常に周囲の安全を確認してください。
- ☒ 使用中に万一、異常が発生した場合はすぐにスイッチを切り、コンセントを抜いてください。
- ☒ マシンの操作は、マシーンをよく理解された方が行ってください。子供は、操作させないでください。

**硬式専用**

▲ 表示されているボール以外は使用しないでください。大変危険です。

**AC100V用**  
一般家庭用100V

**危険**

手や足を突っ込まないでください!  
近づくな!

**注意**

移動の際には、必ずこの部分を持って移動させてください。



**バンパーを持って移動するな!**

品番 \_\_\_\_\_

マシーン本体に貼ってあるシールがはがれたり、消えたりした場合は、すぐに販売店に連絡してください。無償にて送付致します。  
 また、ここに掲載されているシールは、実物大とは異なりますので予めご了承ください。

# 仕 様

ピッチング速度	110km/h～150km/h（硬式）
球 種	ストレートボール
使 用 電 源	AC100V, 50/60Hz
電 動 機	AC モーター 400W × 1 台（メイン）, AC モーター 25W × 1 台（ボールバケット）
寸 法	たて 167cm × よこ 95cm × 高さ 167cm
本 体 重 量	約 220kg
付 属 品	六角レンチ（2本）, メガネレンチ（1本）, マシンカバー

## 消耗部品について

● 下記部品は消耗品なので、取り替え時期がきたらすみやかに交換してください。

メインスプリング、ハンド、ウデ、ブレーキ全体、ブレーキシュー、減すいロールユニット、チェーン2種、バケット内ウレタン、スプリングハンガーA、スプリングハンガーB、ショックアブソーバー（ロスター）

# アフターサービスについて

このアームマシーンBAJタイプには保証書を別途添付してあります。

## ●保証書について

保証書は販売店でお渡ししますから、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

## ●修理を依頼される時

### ●保証期間中は

保証期間中に修理をお受けになる場合は、恐れ入りますがお買い上げの販売店にご相談ください。  
※保証期間中でも、有料修理になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

### ●保証期間を過ぎているときは

まずお買い上げの販売店にご相談ください。  
修理により、商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

## ●修理をご依頼される前に

この説明書をよくお読みいただき、原因不明または対応・処置ができない場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

その際、製品番号（商品名）、および品番、故障内容を詳しくお申し付けください。

## ●操作及び取り扱いミスによるマシンの故障・損傷は保証外になりますのでご注意ください。

## 工場定期点検について

### ●ピッチングマシンは使用開始後、2～3年経過毎に必ず工場定期点検〈有料〉が必要となっております。

工場定期点検では未然に故障・事故の発生を防止し、常に良い状態で安全にご使用いただく為に各部品の点検・調整を行います。

工場定期点検は工場到着後約10日間（実働）で完了いたします。別途部品交換〈有料〉が必要な場合は最大約14日（実働）が追加で必要になります。（時期によっては異なる場合があります。）



※商品のご持参、お持ち帰りの交通費、また、送付される場合の送料、梱包費、その他の諸掛り費用はお客様のご負担となります。（適切な梱包の上、ご送付ください。）ご返送の場合も同様にお客様のご負担となります。

ご不明な点がございましたら、ご購入された販売店様にご相談ください。

☆商品の仕様は予告なく変更・改良する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



製造元  **株式会社トアスポーツマシーン**  
BASEBALL PITCHING MACHINE & SPORTS MACHINES  
本 社 〒551-0031 大阪市大正区泉尾6丁目6番12号 TEL.(06) 6552-8247  
松阪工場 〒515-0041 三重県松阪市上川町長楽3456-2 TEL.(0598) 28-6669

09.01 KHT  
08.05 HT